

病児保育室のふたつの取り組み

よく皆さんに聞かれます。病児保育室の先生や看護師さんは遷らないの？
何の対策をやっているの？
そんな疑問に手軽にできる方法をふたつ、お伝えしますね。

対策その1

手洗い

仮に両手に100個の汚れがあったとします。
日本の水道水だけで手洗いした場合、汚れは何個になると思いますか？お水だけです。石鹸もつかいません。
50個？ 20個？ 5個？



答えは**5個**です。もちろん石鹸をつかえば、もっとなくなります(1/1万ぐらい)が、その分手も荒れてしまいます。上手に石鹸洗いと水道水洗いを使い分けてください。

例えば、外からお家に帰ってきたら、石鹸洗い。家で過ごしているときは、水道水だけなどでも十分に対応できるとおもいますよ。コロナにはアルコールが有効ですが、他の最近やウィルスには効かないものもあります。水道水が一番使いやすくて便利です。使い分けてくださいね。

対策その2

靴の汚れの消毒

みなさん色々な所を歩いてきます。土だったり道路だったり、水たまりで遊んだり。外にはたくさんのばい菌や虫の卵もいます日本は靴を脱いで上がる習慣がありますが、そういう意味では玄関はたくさんの病気を持ち込む場所です。乾いて空中に浮遊するのを防ぎたいですね。

実はクリニックや病児保育室でもみなさんが靴をはいて通ってきたマットは毎日消毒しています。

消毒方法

次亜塩素酸ナトリウム(商品名:ハイター)を1Lのペットボトルに2~3ccぐらいの薄い濃度のスプレーをかけています。先日とある消防署の職員ともお話ししましたが、救急車なども一般的な消毒として同じものを散布しているようです。

お家で散布というわけにはいきません。散布は体に良くありません。

時々玄関にいらない雑巾に上記の消毒液をつけておきます。家に入る時に、パタパタと足踏みするだけで靴のうらの汚れは防げますものね。とてもシンプルで、雑巾は水洗いで再利用すればよいだけです。



今コロナ禍でアルコール消毒が有効ですが、世の中にはコロナ以外の病原菌もたくさんあります。幅広く消毒しながら、病気を防ぐ方法もぜひ覚えてくださいね。